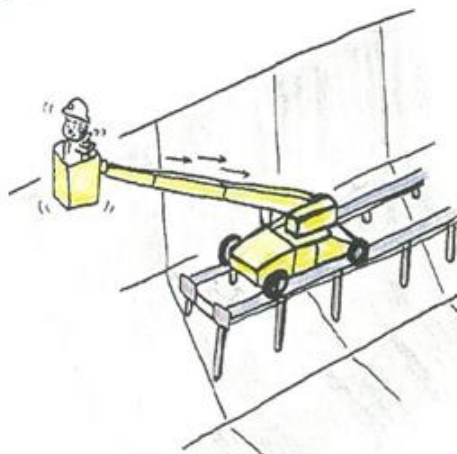


## ① 墜落転落

# レール上を走行中の高所作業車が ストッパーを乗り越え、作業車ごと転落

## 発生状況



ホールド内側面傾斜部に設置していたレール(H型鋼)を走行していた高所作業車が逸走防止用ストッパーを乗り越え、運転士が作業車ごとホールド内底板に転落

## 原因

- ✓ エンドストッパーが低く、車輪が容易に脱輪する状態だった
- ✓ 後進で走行していたため、レールの端が見えにくかった
- ✓ エンドストッパーの安全性(高さ、強度)に対する事前検討が不足していた



## 防止対策

- ✓ エンドストッパーを車輪径の半分の高さまで上げる
- ✓ 走行の際は足元(車輪部)を良く確認する
- ✓ 高所作業車の運転手に対する再教育を実施する



POINT!

## 逸走防止ストッパーは車輪径の1/2以上！



DATA

発生年月日  
2006.11.16

## 発生場所

カーゴホールド  
内

## 作業名・作業内容

ブロック搭載準備作業

## 死傷病名

外傷性くも膜下  
出血

## 職種

外業鉄工職

## 社/協

社員

## 年齢

61才

## 経年数

41年

## リスク低減措置の順序

リスク低減措置 ア「本質的対策」



危険、有害なものの使用を中止  
より危険、有害性の低いものへ変更

リスク低減措置 イ「工学的対策」



安全装置、フェンス等の設置



リスク低減措置 ウ「管理的対策」



立入禁止、教育訓練等により作業者を管理



リスク低減措置 エ「個人用保護具の使用」



ア～ウの低減措置を講じても、  
除去・低減しきれなかった場合のみ